

特別勘定マンスリーレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	▲14.96%	▲25.99%	▲27.49%	▲35.70%	▲17.77%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	36.95%	39.61%
ユーロ圏	28.77%	29.00%
イギリスポンド	5.83%	7.77%
豪ドル(含NZD)	1.39%	1.66%
スイス・フラン	1.77%	2.07%
日本円	25.28%	19.88%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 370)

株式	国名	業種	投資比率
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	0.92%
CHUBB CORP	アメリカ	金融	0.80%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.79%
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	金融	0.69%
GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	ヘルスケア	0.67%
MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	0.66%
GROUPE DANONE	フランス	生活必需品	0.61%
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	ヘルスケア	0.60%
VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	0.57%
UNITED TECHNOLOGIES CORP	アメリカ	資本財・サービス	0.54%
合計			6.86%

債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債	4.250	2014/07/04	1.81%
ドイツ国債	3.500	2009/10/09	1.70%
イギリス国債	5.000	2025/03/07	1.68%
第63回利付国債(5年)	1.200	2012/03/20	1.50%
第260回利付国債(2年)	0.900	2009/09/15	1.42%
第61回利付国債(5年)	1.200	2011/12/20	1.34%
第64回利付国債(5年)	1.500	2012/06/20	1.33%
第260回利付国債(10年)	1.600	2014/06/20	1.31%
ドイツ国債	4.000	2037/01/04	1.31%
フランス国債	3.500	2011/07/12	1.28%
合計			14.68%

特別勘定の名称

グローバルマーケット型

主な運用対象
の投資信託クレディ・スイス世界バランス・ファンド
(適格機関投資家専用)投資信託の
運用会社

クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
▲14.95%	▲26.07%	▲27.76%	▲36.28%	▲20.68%	▲11.17%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現預金	0.5%
投資信託	99.5%
合計	100.0%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	43.12%	50.00%	-6.88%
北米地域	21.12%	27.23%	-6.11%
欧州(除く英国)	11.05%	10.52%	0.53%
英国	3.15%	4.91%	-1.76%
日本	5.22%	5.09%	0.12%
香港・シンガポール	1.45%	0.73%	0.72%
豪州・ニュージーランド	1.14%	1.52%	-0.38%
債券	52.52%	50.00%	2.52%
米ドル圏	9.91%	11.80%	-1.89%
欧州(除く英国)	18.52%	20.55%	-2.03%
英国	4.26%	2.86%	1.40%
日本	19.82%	14.79%	5.04%
現預金	4.36%	0.00%	4.36%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 運用コメント

市場概況

世界の株式相場は10月には下落を加速させました。米国発金融危機のグローバル景気への影響が懸念されたことに加え、ヘッジファンドなどの投資家が借入れ返済のため及びリスク回避のために金融資産を売却する動きが強まったことなどが背景にあります。10月初旬に米国で金融安定化法案が可決された後、欧州各国を含む主要国で協調利下げが行われ、週末のG7サミットを通して金融機関の破綻回避のため幅広い手段を検討することで合意されるなど、一連の動きは金融市場にとってプラスとなりました。これを受けて銀行間金利はようやく低下傾向になりましたが一方で債券相場は乱高下となり、月を通して米国長期金利は上昇しました。為替市場では円高が進みましたが、金利差の縮小見通しからドルは欧州通貨など円以外の主要通貨に対しては上昇しました。

運用概況

10月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約-14.96%となりました。日本債券の保有はプラスに寄りましたが、外国債券および国内外株式の保有はマイナスに寄りました。ポートフォリオにおいては、グローバル株式を基準ウェイトより少なめに、また日本債券を基準ウェイトよりやや多めに保有するとともに、グローバル株式の下落局面ではグローバル株式の一部買い増しを行っています。為替については、円をやや多めに、外貨を少なめに保有しています。

運用方針

各国政府・中央銀行の協調行動によって世界の銀行システムの中核はようやく安定してきました。銀行間金利が落ち着いてきたことから、信用の逼迫にある程度歯止めがかかりそうです。今後市場の注目は各国の金融政策および財政支出を含めた景気刺激策でどれだけ効果をあげることができるかに移ってくと見られます。コモディティ価格が落ち着いてきていることから、マクロ指標が更に悪化した場合は各国ともう一段の金融緩和の余地はあると見られます。一方で、米国、日本、欧州の主要国ではすでに景気刺激策が発表され、あるいは検討が発表されており、景気の急激な悪化を緩和する効果が期待されます。

株式相場は当面は変動の激しい展開が続くと考えられますが、すでに大幅な景気悪化を折り込んだ水準となっているため、一段の下落局面では買い増しを行う計画です。為替については、株価の反発局面では投資家が円を借りて外貨に投資する動きが復活し円安に戻ると見られますが、当面は円を多めに保有する方針です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、次ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) 控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。


その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行

〒107-8480 東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]



アクサ フィナンシャル生命保険株式会社

〒160-8335 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F

TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260

<http://www.axa-financial.co.jp>

AFL-2008-263-20080421(0421)/FR